

平成31年2月発行 第223号

発行責任者 加藤裕子

# みどりのアスパラガス



## ご挨拶

会長 加藤裕子

平成31年が明けました。  
平成最後の年ですね。  
新年を迎えた喜びと、昨年暮れに急逝された千葉恵美子さんへのお悔やみの  
気持ちがあり、悲しみと寂しさが勝った、複雑な思いは否めません。  
恵美子さんのご冥福を、あらためて心よりお祈り致します。



例年より暖かく、雪の少ない冬でしたが、急に降雪が解けず寒い冬が居続ける厳しい日々が続いています。  
インフルエンザも流行し、お約束モードに突入しています。春待つ思いとともに、今年は全国どこにも災害  
が、ありませんように。いじめや虐待がありませんように。思いは一つですよ。

例年通りではありますが、会のことを考えるときは、いつもたった一つだけ！当会の会員になって良かった。  
会員でいて良かったと思っただけ「親の会」でありたいと考えています。そして、少しでも早く、後  
進に繋がりたいのです。

当会の、活動の在り方や方向性について、お一人でも多くの会員の方々のお気持ちや考えをお聴きし、全  
体で深め検討しながら進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします、デス。

先ずはこの新しい1年が、素晴らしい年となりますよう、ご家族とご自分の体調管理に心がけながら過ご  
せますようにと、祈念いたします。

## 平成30年度定期総会

日 時 3月26日(火曜日)  
時 間 10時30分から。  
場 所 北広島市芸術文化ホール活動室 3

お忙しいことと存じますが、来年度も皆様と共に活動していくための  
大事な総会ですので、ご出席をお願い申し上げます。3月初旬に会員の  
皆様へ議案書を郵送いたしますので、当日ご持参ください。





# 新年会・成人を祝う会 開催される！

平成 31 年 1 月 6 日(日)に、毎年恒例の新年会・成人を祝う会が、北広島クラッセホテルで開催されました。新成人対象者は、■■■■君で、この日元気な姿を見せてくれました。他に参加者は、5 名の来賓の方々、会員と家族で、全部で 40 名でした。

スーツ姿の ■■■■君が、ステージに上がり、花束とプレゼントを受け取った後、挨拶をしたのですが、会場からは「小さかった誠也君があんなに立派にスピーチを」と声が聞こえてきました。この度は、新成人、本当におめでとうございます。

今年も、日本コミュニケーション協会の皆さんに、マジックを披露していただきました。毎年、快く引き受けてくださり、ただただ感謝です。

ビンゴゲームでも盛り上がり、美味しいお料理も、お腹いっぱいいただきました。

来賓の皆さん、参加者の皆さん、コミュニケーション協会の皆さん、そして、毎年会場を使わせていただいています北広島クラッセホテルさん、スタッフの皆さん、無事に会を終えることができました。ありがとうございました。今年もまた一年頑張りましょう。

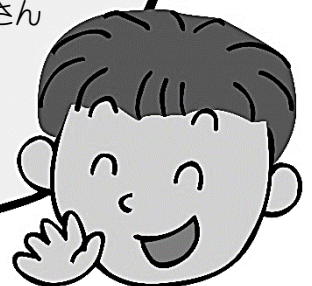


去る12月28日、■■■■さんが、お亡くなりになりました。長い間、会の活動に関わって来られた姿が、思い出されます。本当にお世話になりました。心よりお悔やみ申し上げます。

## 新会員のご紹介

- ◇ ■■■■さん
- ◇ ■■■■さん

どちらも男の子の親御さんです。どうぞよろしくお願ひ致します。



## フレンドリーセンター事業スキー教室

平成31年1月19日(土)夕張マウンレースイスキー場でのスキー教室は、前日の降雪により、絶好のゲレンデコンディション。そして、当日も天候に恵まれ、最高の一日となりました。今年は、10家族のうち、親の会から5家族の会員が参加し、お互いに元気な顔を見る事が出来ました。

ここ2~3年は、グループで指導を受けていたのですが、今回は、マンツーマンに戻り、他では味わえない充実した時間を過ごしたと思います。スキー場は、前よりもお客さんが少なく感じましたが、息子にとっては混雑しているよりも、リフトも早く乗れるし、接触の危険度も低くなるので、気にせずスタート。続けて参加していると、ボランティアで来てくださっている先生方も、子供達の事を覚えてくれているようで、安心してお願いすることが出来て良かったです。

子供が小さかった頃よりもスキー場に行くことが減ったので、このスキー教室は、本当に楽しみにしています。出来れば、ずっとスキー教室を継続してもらいたいと思っています。

中川



# WORLD DOWN SYNDROME DAY

## 3月21日は世界ダウン症の日



2012年から、国連が、国際デーの一つとして3月21日を「世界ダウン症の日」に制定しました。

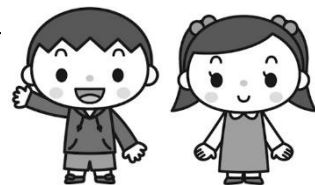
2019年3月21日(木・春分の日)札幌地下歩行空間 憩いの空間 E 10:00~17:00

『世界ダウン症の日』啓発キャンペーン 来て!みて!チ・カ・ホ

☆ダウン症に関するパネル・関連書籍の展示 ☆アピールカードの展示

☆ダウン症を持つ人との交流 ☆映像による啓発活動 ☆チラシ、リーフレット、啓発ティッシュの配布

(北海道小嶋会より掲載のご協力いただきました。)



World Autism Awareness Day

## 世界自閉症啓発デー

日本実行委員会<公式サイト>

毎年4月2日は、国連の定めた  
世界自閉症啓発デー

毎年  
4/2~4/8は、  
発達障害啓発週間

『全道各地でブルーライトアップや、イベントが開催されます。  
詳しくは世界自閉症啓発デー公式サイト、または各分会のホームページ等でご確認ください。』



# 映画のご紹介

グループホームの集団生活も苦手とする「重度自閉症」といわれる人たちが、重度訪問介護制度を使って、地域で個別に支援しているNPOが都内にはいくつかあるそうです。この映画はその生活のドキュメンタリー映画です。

全国的にも、このような支援がかなり増えてきているそうです。残念ながらまだ北海道内での上映は予定されていませんが、是非とも各地で上映されることを願い、ご紹介させていただきます。(斉藤)

## 映画「道草」

<https://michikusa-movie.com/> ※以下ホームページより抜粋

### 『★ストーリー』

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。

自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。

世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。

東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばし ブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。

叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。 けど、関わらなくなることで私たちは縮む。 だから人はまた、人に近づいていく。

知的障害がある人の暮らしの場は少しずつ広がっていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮しているのが実情です。そんな中、2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー（介護者）付きでひとり暮らしができる可能性は大きく広がりました。この街で、誰もがともにあるために。あたらしい暮らしをはじめている人がいます。』



## ◆活動報告◆

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 12月 7日 | 自立支援協議会<br>企業説明会出席(仲上・國岡・南) |
| 12月13日 | 青空会                         |
| 1月 6日  | 新年会・成人を祝う会                  |
| 1月10日  | 役員会                         |
| 1月17日  | 社会福祉協議会理事会出席<br>(中川)        |

\* この会報は、会の趣旨に賛同下さる方々に、私たちの活動を広く紹介する目的で発行しています。

ほかの目的に使用しないよう、また、破棄する場合は取り扱いにご注意下さるようお願いいたします。

◆会報担当 中川民恵 斉藤圭美 井上野花◆



先日、大泉洋主演「こんな夜更けにバナナかよ 筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち」を見て来ました。予告では、鹿野さんのわがままにボランティアさんが、走り回っていましたが、自立生活を通して彼の思いが沢山盛り込まれていました。

「生きる事は、迷惑をかけあう事」「自分に正直に生きる事」「思い切って人の助けを借りる勇気を持つ」「障がい者の世話は、家族がするという常識に抵抗している」心の強い人で、夢を持って、必死で生きて。だから、まわりの人も力になってくれる。

お母さんも本当は心配で仕方がないのに、自分で生きようとしている以上、親は、我慢して手を出さないと、ぐっと堪え、ボランティアさんに差し入れと言いつつ様子を見に来て。切なくなるシーンも多かったです。さて、我が子の夢は何だろう・・・？(中川)